

やまがた

元氣

農の風

NO.17

山形県酒田市

株式会社はなはな

代表取締役社長 阿部 浩之さん

地域の遊休農地を積極的に借り受け、切り花と野菜生産拡大に取り組む若手法人代表

酒田市



経営のきっかけ・こだわり・思いをお聞かせください。

専門学校卒業後、ホテルでの仕事を経験したのち、家業の会社を継承しました。現在は、切り花と野菜の生産を主力に営農しています。

切り花の主力はアルストロメリア（通年栽培）で、その生産量は全国でも5本の指に入ると自負しており、また、カラーは品種数、生産量とも日本一です。花きのほかに、ミニトマトやサツマイモ等の野菜生産にも取り組んでいます。NATTA（ナッタ）という社内ベンチャーで、郵便局を中心に規格外野菜やサツマイモの加工品を販売しており、購入者からも好評を得ています。



株式会社はなはな 代表取締役社長 阿部 浩之さん



日本一の生産量を誇る「カラー」

(経営概要)

ハウス約100棟 露地20ha

庄内地域13カ所、宮城県松島町の計14カ所の農場で農産物を栽培

花き：アルストロメリア、カラー、トルコギキョウ、百合など

野菜：ミニトマト（ハウス）、サツマイモ、里芋、アスパラガスなど



大変なこと、やりがいをお聞かせください。

経営規模拡大に取り組んでいますが、大半が遊休農地であるため、生産可能な状態に戻すには、大型の土木機械を使用するなど、大変な作業となりました。一方で遊休農地の活用を広げることで、子供の頃から見てきた、緑溢れるふるさとの風景の維持、存続に貢献できることにやりがいを感じています。

花きやミニトマトを栽培する第5農場のハウス
手前がサツマイモ畑のほ場

今後の経営、目標や夢、将来展望をお聞かせください。

今年は5年計画で進めてきた野菜品目検証作業の最終年であり、気象条件や土壌条件、収益性など長期的に生産できる有望な品目の目途が付いたので、本格的な生産に取り組んでいきます。

今後は、子供達3人が大きくなって就農したいと言われた場合でも、それぞれが独立して営農出来るくらいまで私の代で規模拡大ができればと思っています。



ミニトマトの説明をする阿部さん



ソーラーシェアリングによるアスパラ栽培